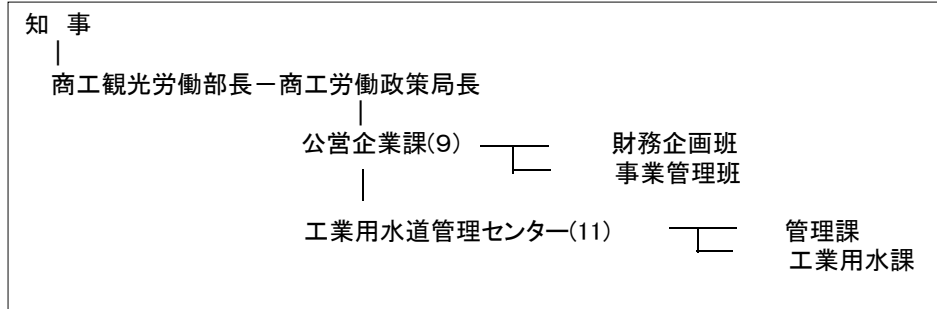


## 【令和元年度 経営情報】

### 1. 事業概要

1	団体名	和歌山県
2	組織名	商工観光労働部商工労働政策局公営企業課
3	事業名	工業用水道事業
4	管理者	和歌山県知事
5	所在地	〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
6	職員数	20名
7	組織構成	下表のとおり



### 2. 業務予定量

	業務項目	予定量
1	給水先事業所数	34 箇所
2	契約給水量	140,325 m <sup>3</sup> /日
3	平均給水量	140,325 m <sup>3</sup> /日
4	年間総給水量	51,358,950 m <sup>3</sup>

### 3. 財務状況

貸借対照表	項目		損益計算書	項目	
	金額(千円)			金額(千円)	
	総資産	8,706,998		総収入	971,855
	負債	940,175		経常損益	105,256
	資本	7,766,823		当期損益	105,256
	累積欠損金	0		減価償却前当期損益	297,555

※累積欠損金:各事業年度の営業活動の結果生じた欠損金が、多年度にわたって累積したもので、貸借対照表上の利益剰余金のマイナスとして表示される。

### 4. 一般会計等の関与

	内訳	金額(千円)	備考
1	出資金	0	今年度増減はなし
2	補助金	0	
3	負担金	0	
4	繰出金	0	
5	貸付金	0	
6	機会費用	0	

※出資金:地方公営企業法第18条に基づき、地方公共団体の一般会計又は他の特別会計から公営企業の特別会計に出資されたもので、公営企業の自己資本金になる。

補助金:一般会計等から公営企業の特別会計へ各種行政上の目的をもって交付される金銭的給付。

負担金:一定の事業等について公営企業を営む特別の利益関係を有する者が、その受益に応じて負担する金銭的給付、又は財政政策上その経費の負担割合が定められている際に負担する金銭的繰出金:地方公営企業法第17条の2、第17条の3に基づき一般会計又は他の特別会計から公営企業の特別会計へ繰り出した金銭的給付。

貸付金:地方公営企業法第18条の2に基づき、一般会計又は他の特別会計から公営企業の特別会計へ貸し付けた長期貸付金。

機会費用:一般会計が有する土地等の資産を、公営企業に無償又は低廉な賃借料でその事業の用に使わせた場合に、仮に当該資産を民間に貸し付けた場合に得られ得るであろうと考えられる賃借料との差額。

### 5. 企業債残高等

	区分	金額(千円)	備考
1	企業債 うち公的資金	0	
2	借入金	0	
3	その他	0	

## 6. 職員数の状況

	項目	人数等	備考
1	職員数	20	
2	職種別職員数	技術 18 事務 2	公営企業課:技術7名、事務2名 工業用水道管理センター:技術11名
3	職員数の推移		別表1のとおり

## 7. 職員給与の状況

	項目	金額(千円)	備考
1	人件費	195,625	
2	職員給与費	81,601	
3	職員平均給与月額	340	職員給与費÷職員数÷12カ月
4	職員手当	63,268	期末・勤勉手当含むが、退職手当は含まない。
5	特別職報酬等	0	

## 8. 料金等の状況

	項目	金額(千円)	料金算定方法	備考
1	有田川第1事業	23,497	責任水量制、総括原価方式	
2	有田川第3事業	276,257	責任水量制、総括原価方式	
3	紀の川第2事業	348,209	責任水量制、総括原価方式	
4	料金の推移	—		別表2のとおり

## 9. 経営基盤強化への取組状況

平成18年3月 中期経営計画策定(中間報告、最終報告実施。課題を次期計画に反映。)  
平成22年3月 第2次中期経営計画策定(中間報告、最終報告実施。課題を次期計画に反映。)  
平成27年3月 第3次中期経営計画策定(中間報告、最終報告実施。課題を次期計画に反映。)  
令和2年3月 経営戦略(長期経営計画)策定

## 10. 事業評価等の実施状況

経営戦略策定時に、外部評価(レビュー)を依頼(学識経験者2名、ユーザー5社)

## 11. 民間的経営手法の導入状況

特になし

## 12. その他特記事項

## 1 供給水質

紀の川第2工業用水道事業の水質改善のため、取水施設更新工事を令和3年度より実施予定。

## 2 施設更新計画他

和歌山県商工観光労働部工業用水道事業会計・土地造成事業会計経営戦略(長期経営計画)  
令和2年3月策定のP.16、P.24に記載

別表1

〈職員数の推移〉

(単位:人)

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
公営企業課	10	11	9	9	9
工業用水道管理センター	12	12	12	11	11
合計	22	23	21	20	20

別表2

〈料金等の推移〉

年 度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
有田川第1事業	契約水量(m3)	2,196,000	2,190,000	2,190,000	2,190,000	2,196,000
	超過水量(m3)	0	0	0	0	0
	基本料金単価(円/m3)	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7
	超過料金単価(円/m3)	21.4	21.4	21.4	21.4	21.4
	特記事項					
有田川第3事業	契約水量(m3)	24,888,000	24,820,000	24,820,000	24,820,000	24,888,000
	超過水量(m3)	253,100	0	0	0	0
	基本料金単価(円/m3)	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1
	超過料金単価(円/m3)	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2
	特記事項					
紀の川第2事業	契約水量(m3)	26,799,230	29,880,120	30,869,130	30,607,420	29,536,240
	超過水量(m3)	60,313	81,168	46,235	88,566	134,433
	基本料金単価(円/m3)	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7
	超過料金単価(円/m3)	19.6	19.6	19.6	19.6	19.6
	特記事項					